



青銭万選



北海道
当別高等学校
PTA
Vol.111
2026.March



卒業おめでとう!

「3年間ありがとうございました」

PTA会員の皆さまにおかれましては、日頃より本校のPTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

私はこれまで3年間PTA活動に参加してまいりました。その中で今年には、今後に繋がればとの思いからいろいろな行事に参加させていただきましたが、1年目の時よりも行事への参加人数の増え方に驚くと同時に、喜びと感謝を胸に一緒に活動させていただきました。

このようにたくさん役員や保護者の方々から協力をいただけたことは、今後に向けてとてもよい進展になったのではないかと思います。札幌市内の高校に比べ生徒の人数に格差がある中でも行事における保護者の団結は、負けてはいないのではないかと感じます。実際に、PTAの研修で実施内容についての意見交換の際には、他校にアドバイスができるほど当別高校PTAは団結していると私自身は感じています。

今は、なかなかPTA活動に消極的な時代ですが、これからはもう少し活動の幅を広げて、今後当別高校のPTAがますます活動的になることを願い、退任前の挨拶とさせていただきます。今後PTA活動にご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。

「新しい時代の価値観——自らの『手』と『技能』で未来を拓く」

北海道当別高等学校長 保 格 秀 規

卒業生の皆さん、おめでとう。6つの「当別高力」を糧に皆さんは歴史的転換点にある社会へ踏み出します。昨年私は稲盛和夫氏の言葉「人生を『作る』と伝えました。今、その思いを形にする手段が激変しています。WSJに『AI発展により事務的な仕事が代替される一方、米国等では配管や電気工事等の熟練した高卒の『技術職』の価値が再評価され、給与が大卒を逆転する現象が起きています。現場で手を動かす物理的な問題を解決する技能は、AIには真似できない、今最も希少で誇り高い能力です。本校の探究学習で身につけた学び続ける姿勢を活かしてください。『社会を支えたい』という思いに、確かな技術を掛け合わせれば、皆さんは新しい時代の主役になれます。当高で培った力を武器に、自信を持って自らの道を切り拓いてください。皆さんの前途を心から応援しています。

今年度のPTA活動



7月12日正午過ぎ、「もう焼くものがない!」と叫び声が焼き物班のテントに響いた。この日は学校祭2日目、一般公開日だ。天気にも恵まれ生徒玄関前スペースは在校生とその保護者家族地域の方々であふれかえっている。園芸デザイン科の生産物販売ブースにたきこきとクレイフのキッチンカー、そして我が当別高校PTAのバザーコーナーが並んでいる。そのPTAコーナーでは焼き鳥とフランクフルトを炭火で調理する焼き物班、家庭用プールで冷やしたペットボトルとフルーツ味のかき氷を提供する冷え物班、金銭を一手に扱う会計と袋詰めしたディナーロールを売る会計班がそれぞれ忙しく動き回っていた。PTA役員に保護者有志の総勢34名が朝8時から集まって働いてくれた。

焼き鳥300食が昼過ぎには調理し終わった。1食が3本セットだから900本を焼き終えていたのだ。保温ケースに残っている本数も残り僅か。大盛況である。特製の炭火コンロで開店前からぶっ通しで焼き続けた結果である。焼き手と売り手の方々には達成感に満足感、そして安堵の表情が見えた。

コロナ禍以降自粛していた諸活動が再開し始めて、当高祭でも昨年からPTAバザーを復活した。今年は焼き鳥とフランクフルト100本、ペットボトル飲料約300本のほかに、ディナーロール100個を売りつくし、シロップが尽きるまでかき氷約200杯分の氷を削り続けた。多くの生徒たちが楽しみ、保護者の方々も喜んだ。当高祭の盛り上がりはPTAも貢献できたようだ。

PTA活動への関心が薄らいでいる昨今だが、この催しを通して保護者同士の横のつながりが増え、子どもや学校の話を増えればと思っ。来年も準備から多くの保護者の参加協力を期待して今年も取り組みへの謝意を伝えたい。感謝、感謝、また感謝!

PTA活動への関心が薄らいでいる昨今だが、この催しを通して保護者同士の横のつながりが増え、子どもや学校の話を増えればと思っ。来年も準備から多くの保護者の参加協力を期待して今年も取り組みへの謝意を伝えたい。感謝、感謝、また感謝!

学校祭PTAバザー

教諭 近藤 弘之

第74回全国高等学校PTA連合会2025 三大大会に参加して

PTA会長 酒井 陽子



今年も全国大会に参加してまいりました。1日目はレモンさんという方の講演でPTA活動が難しいこの時代に、明るく、また希望の持てる活動内容をお聞きし、最後にはとても元気にスカーフとした気持ちになりました。2日目の講演前には伊勢神宮を参拝し、伊勢名物の赤福や伊勢うどんを食べました。そして午後からは井村屋会長兼CEOの中島伸子氏の講演を聞き、プラス1(ワン)の考え方に共感するとともに、今後とも考え続けたいと思いました。

なかなか体験できないことをたくさんできて、また、38℃というとても暑い猛暑も実感でき、いろいろな貴重な経験となりました。



スウェーデンマラソンボランティア協力

PTA副会長 見上 真理 麻

10月19日のマラソンボランティアに参加してみました。保護者と弟妹のお手伝いが10名と、思ったよりも多くの協力がありました。当日はあいにく朝から雨が降ったり止んだりとにかく寒い1日でした。

私の担当はコース係だったので参加選手を間近で応援できました。ですが、当別高校の生徒の大半が走るコースではなかったのが残念でした。最終ランナーが通過後、送迎バスが1時間以上来ないままコース内に放置され、忘れられているのではと心配になってしまいました。

来年度の大会は晴れて暖か天気になることを祈ります。

令和7年度 北地区6校合同 研修・交流会



初めて交流会に参加させていただきました。講演では札幌大通公証役場の公証人の方から「成年後見人制度」について教わりました。老後の相続、財産分与、銀行での手続きなどについて、認知症などが進んで自分で意思表示ができなくなったときに家族だからと当たり前に行き届かなくてはいけないこと、そのために書面で後見人を指名しておくかなければならないことなど、今後私達が必要とする知識を新たに得ることができました。

交流会では、各校のPTA活動報告を聞きました。それぞれ役員の方々で工夫されており、また学校によって力を入れているところが違い、共感、感心、驚きを受けました。こういう機会がないと関わりを持っていない先生方、役員の方との対話から、学びもあり楽しい時間になりました。また機会がありましたら参加できたらと思っています。

1年A組PTA 太田 綾子

【第111号】 令和8年3月1日発行

編集者・発行者

Hokkaido Tobetsu High School



北海道当別高等学校PTA総務部

〒061-0296 北海道石狩郡当別町春日町84-4

事務室 TEL 0133-23-2444 FAX 0133-23-2380

http://www.toubetsu.hokkaido-c.ed.jp

toubetsu-z1@hokkaido-c.ed.jp



編集後記 第111号発行にあたり

今回のPTAだよりは、今年度のPTA活動について参加された会員の方の記事で紹介させていただきました。活動へのご協力&記事をご執筆くださった皆さまに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

バタバタと忙しく過ぎ続けた令和7年度が終わりに近づいてきました。「大雪による交通障害の怖れ」との報道にビックリした昨日が嘘のような青空を見ながら、入学から見守り続けた3年生の彼らが登校してこない2月をかみしめ、編集後記といたします。(松)

進路先 一覧

(R.2.1現在)

大学・短大 合格7名

藤女子大学・北海道情報大学・酪農学園大学・ZEN大学・光塩学園短期大学・札幌大谷大学短期大学部・北翔大学短期大学部

専修学校等 合格10名

札幌こども専門学校(2)・札幌医療秘書福祉専門学校・札幌ビューティーアート専門学校・札幌どうぶつ専門学校・札幌スイーツ&カフェ専門学校・札幌情報ITクリエイター専門学校・専門学校北海道自動車整備大学校・北海道エコ・動物自然専門学校・北海道立漁業研修所

公務員就職 合格2名

自衛隊一般曹候補生・自衛官候補生

民間就職 内定20名

(株) サカイ引越センター北海道推進課(2)・(株)ヤマダデンキ・(株)北栄電設・(株)ラルズ・(株)ロピア・(株)はなまる・(株)札幌かに本家・(株)札幌バリ・(株)フレッシュワン・(株)田西会館・サザエ食品(株)・北海道ホールフーズ(株)・ハヤカワ建設(株)・ネットトヨタ札幌(株)(2)・札幌西タイヤセンター(株)・(有)下段モーターズ・(株)シロ みんなの工場・中島水産(株)

青銭万選

タイトルの青銭万選(せいせんばんせん)について

青銭の銭は質がよいので、一万回選び取っても他の粗悪な銭と取り違えたりしないこと。個々に輝く当別高生を青銭と捉え、何処に行ってもいつ何時もその輝きや質が衰えることのないように、との願いをこめてPTAだよりのタイトルとしました。

普通科(探究) 活動の紹介



- 陸上部
 - ・高体連札幌支部予選会出場
 - ・高体連新人戦札幌支部予選会出場
 - ・高体連新人戦全道大会出場
 - ・男子やり投げ(2E/梅津政吾)
- 男子バスケットボール部
 - ・高体連春季大会予選リーグ出場
 - ・高体連札幌支部予選会出場
 - ・男子バドミントン部
 - ・高体連札幌支部予選会出場
- 放送局
 - ・NHK杯全国放送コンテスト石狩地区大会
 - ・テレビドキュメント部門出品
 - ・高文連石狩大会
 - ・ビデオメッセージ部門出品
- 柔道
 - (2D/二瓶恵祐/個人参加)
 - ・高体連札幌支部大会出場
 - ・高体連全道大会(新人戦)出場
- ボクシング
 - (3A/成田文輝/個人参加)
 - ・高体連全道大会出場
- 写真部
 - ・高文連石狩支部写真展出品
- 図書局
 - ・高文連石狩支部図書局研究大会参加
- テニス部
 - ・高体連札幌支部予選会出場

今年度の部活動等大会出場記録一覧

園芸デザイン科 活動の紹介

「全道技術競技大会」



8月8日、岩見沢農業高校で全道技術競技大会が実施されました。農業鑑定競技並びにフラワーアレンジメント競技において、校内大会を勝ち抜いた6名が出場しました。夏休み中にもかかわらず、必死に学習して、農業鑑定競技 作物部門で1名が優秀賞、フラワーアレンジメント競技において、1名が最優秀賞、1名が優秀賞を受賞することができました。

10月、全道大会で入賞した2名が全国大会(山梨県及び福島県)に出場してきました。

全国大会での入賞は叶わなかったものの努力の成果は来年につなげたいと思います。

「収穫感謝祭」



11月6日、園芸デザイン科で今年度も無事に農作物が収穫できたことをみんなで喜び感謝する行事、収穫感謝祭が実施されました。各部門からの成果発表や収穫物(いも・にんじん・かぼちゃなど)をふんだんに使ったカレーライスを作り、みんなで味わって食べ、あらためて生産物を生む大地、収穫物、携わった人に感謝することができました。合わせて、来年の豊作も祈念することができました。

「クラウドファンディング事業」

1.活動計画プレスリリース(7月)



今年度、地域に根ざした活動範囲を広めるため道立高校クラウドファンディングに挑戦しました。綿密に計画を立て、7月北海道庁において活動計画プレスリリースを行いました。大勢の人の前で発表しましたが大きな自信

につながりました。ここから支援金募集を開始しました。多くの心温まる地域の方々の支えもあり、目標額に到達することができました。

3.成果販売会

(1)パンの販売会(11月21日・12月2日/校内販売 12月18日/役場での販売) 調理パン4種類と菓子パン3種類を11月21日、12月2日と2回にわたり、昼休みを利用して校内販売会を実施しました。行列ができて、大盛況でした。さらに12月18日、支援していただいた当別町にも成果を披露するため、当別町役場でパンの販売会を実施しました。100個ほどのパンが全て売り切れ、同時に温かい言葉もかけていただき、さらに意欲が高まりました。



(2)地元産品原料加工品販売(11月2日/パルコ無印良品店販売 12月13日/ゆるエコマルシェ) 当別町産の小麦やブルーベリー、亜麻の実、亜麻仁油などを活用して、加工品作りを行いました。パウンドケーキやマトジュース、ブルーベリージャムなど。これらを札幌パルコ無印良品店での販売や当別町イベントゆるエコマルシェなどでPR販売しました。同時にアンケートも実施し回答していただきました。多くの励ましの意見や適切なアドバイスをもらい今後さらに活かしていきたいと思えました。1月25日彩活フェス(当別町)でも販売しました。

「校内実績発表会」

12月12日プロジェクト班による研究発表大会を実施しました。作物・水稲、野菜、草花、食品加工などそれぞれの専門性を活かした研究取り組みを発表しました。また、農業クラブ執行部は今年度の活動実績を報告しました。今回の農クワ行事から3年生に代わり、2年生と1年生の農クワ執行部が運営に当たることとなり、緊張しましたがスムーズに進行することができて一安心です。これからもみんなで力を合わせて頑張っていきます。



表彰関係

●全道技術競技大会 農業鑑定競技 作物コース **優秀賞** 2年D組 二瓶 恵祐

●全道技術競技大会 フラワーアレンジメント競技 **優秀賞** 2年D組 川股リフカ **優秀賞** 3年D組 前田 歩音

3学年 担任より

「新しい門出に」



3年A組担任 高井 景子

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、三年間に渡り温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。長かった、もしくはあっという間の三年間、様々な気持ちが交錯していることでしょう。卒業生の君達には常に日常生活を支えてくれる家族や友人があり、高校生活を支えてくれました。一人では乗り切れなかったものや出来事も周りの人がいてくれて、今の自分があります。かけがえのない友人と過ごした、当たり前であった高校生活の思い出を大事に、自分の夢に向かって新しい輝かしいスタートを切ってください。これからが本番です。君達の学び舎でいつでも応援しています。これからのご活躍とご家族皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

「卒業証書の望遠鏡でのぞくそれぞれの未来」



3年D組担任 高橋 真一

3年前の入学時に配布されたPTA便りには入学後の一年間で「自分を好きになってほしい」「自分を好きになるためには「自分の良いところを見つける」「得意分野を伸ばす」「自信を付ける」「人には負けない一番をつくる」「自分を大切に」「自己肯定する」ことが必要です。やがて他の人の良いところも出てくるはず。周囲への感謝の気持ちも芽生えてくるはず。他者を認めることにもつながっていくと信じています。2年生になれば「自分に不足している事」「必要な事」「改善点」という目標が見えてくるはず。そして、3年後の進路が実のあるものになります。他人の善の上げ下げや粗探しをしている場合ではありません。高校生としての時間は限られています。とにかく自分自身を磨くことに専念してください。ダイヤも金もはじめるから光輝いているわけではなく、磨きが必要で、自分自身の中にあるダイヤや金を見つけて磨きをかけてください。これからの輝きに期待します。こんなことを書かせていただきました。卒業証書を手にする皆さん、この3年間で自分自身を磨くことができましたか。この時期になるといつも思い出す詩の一節があります。ひろげたままじや持ちにくいから きみはそれを磨くまらぬままじやつまらぬから きみはそれを磨くをそいでみる... まるめた卒業証書の筒からながれ見えよ。授与された卒業証書の望遠鏡で光り輝く自分の未来を見つけてください。

「出合いに感謝」



3年E組担任 切江 智大

このたびは、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。卒業というハレの日を迎えられたこと、担任として大変うれしく思います。また、3年間の長きにわたり、日々生徒たちを温かく見守り、学校生活を支えてくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。振り返れば、行事や実習など、決して楽な道のりではありませんでした。生徒たちは、苦しみながらも、また仲間と共に喜び合ったりと、多くの経験を積み重ねてきました。私の願いは、生徒たちがこれらの経験を通じて、それが決して自分一人の力ではなく、支えてくださる方々がいてこそ成し遂げられたのだと実感してくれることです。そして、これから社会に出て新しい出会いがある中で、常に「感謝の心」を持って人との絆を深めていってほしいと願っております。私自身も、生徒たちの成長に関わる中で多くのことを学ばせていただきました。過ぎた時間は、私にとってもかけがえのない大きな財産です。これから出会う人々への感謝を胸に、自分の信じた道を力強く歩んでいってくれることを信じています。

家政科 活動の紹介

「生活産業現場見学会に参加して」

1年E組 島谷 美月



ホテルライフォート札幌での「生活産業現場見学会」は、とても充実した時間でした。フルコース料理は初めてで、嬉しさと同時に緊張もあり、マナー講座を受けながら「これは大丈夫かな」「どうすればいいんだろう」と戸惑う場面もありました。それでも新しいマナーを学び、美味しい料理を味わうことができ、とても良い見学会になりました。

「卒業制作」

家政科3年保育コース 中田 由希奈



保育卒業制作では、私たち3年生がこれまで学んできたことを形にし、心を込めて「プレーメンの音楽隊」をペープサートで発表しました。動きや見せ方を工夫し、園児たちにわかりやすく楽しんでもらえるように意識しました。園児たちの笑顔に触れ、作品を完成させた喜びを実感できる、貴重な経験となりました。

「石狩市の園巡り&札幌大谷短期大学を訪問して」

2年E組 赤塚 雪菜



10月16日(木)、午前中に石狩市内にある4つの園を巡りました。同じ石狩市内であっても、園によって子どもたちのタイプや雰囲気の違い、行事などにそれぞれの特徴があり、卒業後の進路を考える上でとても良い経験になりました。午後からは、札幌大谷短期大学保育科の見学に行きました。今年度、音楽リズムの授業でお世話になっている、松井先生に案内していただき、造形の授業では花紙を使って作品をつくりました。施設見学では、設備がとても充実していて、グランドピアノも数台あり、有意義な時間を過ごすことができました。

「卒業制作発表会を終えて」家政科3年食物調理コース 卒業制作チーフ 浅里 結衣



これまでに学んだ技術や知識を活かし、献立の考案から調理、サービスまで、すべて自分たちで手がけたコースランチを提供しました。今年はイタリア料理に挑戦しました。メニュー作りは、失敗や採用されなかった案も多く、決して簡単ではありませんでした。それでも試作を重ね、仲間と意見を出し合いながら、ようやく納得のいくコースを完成させることができました。提供当日は多くの方に喜んでいただき、大きな達成感を味わいました。このような貴重な経験ができる環境は決して当たり前ではなく、とても恵まれたのだと実感しています。支えてくださったすべての方への感謝の気持ちでいっぱいです。

表彰関係

●令和7年度北海道高等学校 家庭クラブ連盟研究大会 ホームプロジェクトの部 **優秀賞** 3年E組 浅里 結衣

●第13回北海道高等学校長協会 家庭部会 意見発表大会 **優秀賞** 3年E組 福島 李理 **産業教育振興会代表校** 3年E組 福島 李理

●令和7年度北海道高等学校 産業教育意見・体験発表大会 **努力賞** 3年E組 福島 李理